令和４年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

仕事部会　活動報告

１　本年度のねらい

飯伊圏域における障がい者の雇用促進、定着安定のため、関係機関との連携をはかり

つつ以下の活動を行う。

1. 関係機関との連携を深めより地域に根差した就労支援をはかる。
2. 医療関係者の就労支援が各地で広がりつつある中で飯伊において役割を知る事により

新たなネットワークの構築を図る機会とする。

1. 企業との懇談を通して企業が求める労働者の姿を共有することを目的とした学習会、

研修会を通じて地域の障がい者雇用の促進に努める。

２　部会の開催日時及び取り組み内容

・年６回　　第３水曜日　１３：３０～１５：００

・三役会議　４月１３日(水)

　　　　　第１回　　５月２５日(水)　三役承認、部会員・事業所紹介、活動計画案検討

（オンライン開催）　　　　　　　　　　参加者２３名

　　　　　　　　　　７月１５日(水)　南信州地域農福連携推進研修会

　　　　　　　　　　　　　　　　　・現地視察　㈱ウィズファーム　　　　　　　　　参加者１４名

第２回　　７月２０日(水)　事例検討　「県チャレンジ雇用障がい者活躍サポーターと

求人開拓員の役割・支援事例　」　　参加者２４名

　　　　　第３回　　９月１４日(水)　学習会「精神・発達障がいの支援について」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・事例発表　総合支援センター

　　　　　　　 ・事前アンケートをもとにグループトーク　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　講師　飯田病院精神科デイケア三石氏・浦野氏

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　参加者３３名

　　　　　第４回　１１月３０日(水)　研修会「障害者雇用について企業と学ぶ」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　講師　長野障害者職業センター主任カウンセラー風間氏

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　参加者２７名

　　　　　第5回　　２月１５日(水)　まとめ

県部会報告　、座談会：今年度・次年度活動計画について

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　参加者２２名

　３　成果

　　・農福連携研修会では、現地視察もかね取り組み事例を学ぶことができたい。就労支援のいい刺激と

なり、参加した事業所からは研修会がきっかけでいい縁ができたとの報告もあった。

　　・学習会では、事例発表とGWを行った。久々の学習会ということもあり、参加人数が多かった。

GWでは、それぞれの事例をもちより、他事業所での支援方法、支援者側の思いなどを共有できる

機会となった。

　　・研修会では、職業センターよりカウンセラーを招き、企業向けに障がい者雇用の基本や定着に必要

　　　な配慮について講演いただいた。南信地域では企業向けの研修が少ないとの声もあり実施に至っ

た。参加企業からはわかりやすい内容であったと好評であった。また参加企業の担当者同士のつな

がりの機会にもなった。

　４　課題

・就労支援事業所では、職員の育成、支援力の向上に課題を感じている。

・就労選択支援について、圏域内の就労移行支援事業所が少ないなか、アセスメントをどこが担う

　のか、また特別支援学校の生徒の場合はどうなるのかなどの懸念がある。参加者からは、部会のよ

　うな機会がないと制度等の情報は入ってこないとの声もあり、引き続きに部会で共有の機会を作

り、必要に応じ検討していく。

　　・圏域内の障がい者雇用の求人は限られており、引き続き新規企業を開拓していく必要がある。

ハローワークを中心としたチームで今後も企業への働きかけをしていく。